

「アニメーションとインディ・ゲーム」

日時：2019年5月13日(月)

14:30 開場 / 14:40 ~ 16:10 (入場無料・事前予約不要)

会場：比治山大学 5号館 1階 05110 講義室


広島市東区牛田新町4丁目1-1

講師：土居伸彰(どいのぶあき)氏

(新千歳空港国際アニメーション映画祭ディレクター)

問合せ：082-229-8958(美術準備室)hart@hijiyama-u.ac.jp

主催：広島市 / 比治山大学・比治山大学短期大学部

 平成31年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

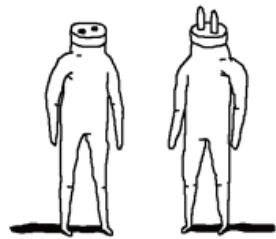
概要：

最近、個人アニメーション作家がインディ・ゲーム(個人または小規模チームで開発されるゲーム)開発に乗り出すケースが増えてきました。アニメーションとゲームはタイムラインの流れなど異なる部分はもちろんあれど重なり合う部分がかなり多いこと。Unityなどのゲーム開発エンジンが利用しやすくなったこと。ゲームにはマーケットが存在していることなどが理由として挙げられますが、その本質は、アニメーション作家が作る作品の世界観が、アニメーション以外にも応用可能であること(つまりアニメーション作家は必ずしもその活動をアニメーションのみに留める必要がないこと)なのではないでしょうか。本講座では、アニメーション作家がゲームへと活動領域を拡張させている具体例を参照しながら、アニメーションとゲームの関係性を考えてみます。

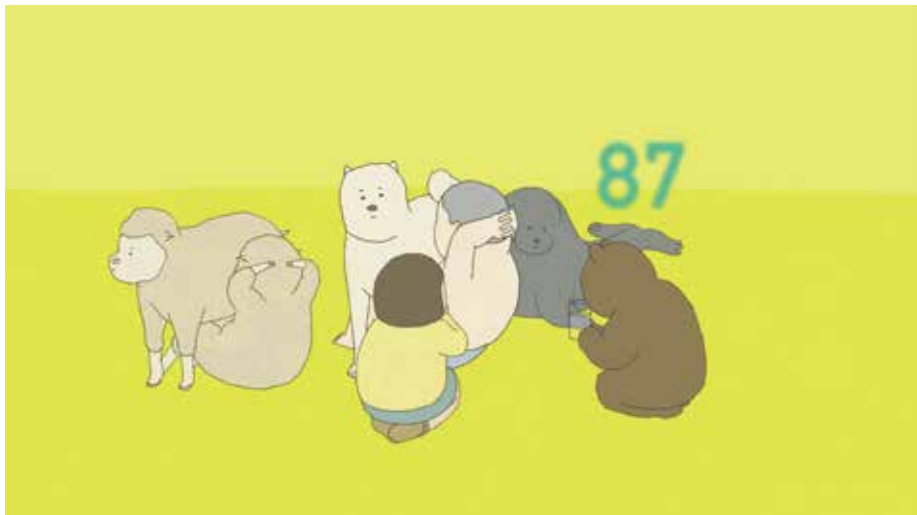
上映作品(予定)

和田淳『マイ・エクササイズ』

ミヒヤエル・フライ『Plug & Play』など



PLUG & PLAY



土居伸彰(ニューディアー代表)

1981年東京生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)。新千歳空港国際アニメーション映画祭フェスティバル・ディレクター。ロシアの作家ユーリー・ノルシュテインを中心とした非商業・インディペンデント作家の研究を各大学の非常勤講師や助手を通じて行うかわら、Animations Creators and CriticsやCALFといったグループの一員として、上映イベントの企画や執筆等を通じて、世界のアニメーション作品を広く紹介する活動にも精力的に関わってきた。海外映画祭での審査員やキュレーターとしての活動経験も多い。2015年、株式会社ニューディアーを設立。世界のアニメーションの才能をつなげるべき場所へとつなげる活動を積極的にスタートさせる。



アクセス

- アストラムライン / 「不動院前」 駅下車 徒歩5分
- JR / 「新白島駅」でアストラムラインに乗り換え
- バス / 「牛田新町4丁目」 下車 徒歩3分
- 広島駅から / 「エールエール前20番乗り場」 広島交通・JRバス 千足、深川、高陽方面行 (にぎつ経由) 「Bホーム8番乗り場」 広島交通・JRバス・広島バス 高陽方面行 (広島バスセンター経由)
- 広島バスセンターから / 広島交通・JRバス・広島バス 高陽方面行 (基町経由)
- 自家用車 / 駐車場有り (駐車台数に限りがあります)

 比治山大学
比治山大学短期大学部